

全国から沖縄へ移住する人々の保険、資産運用といったライフプラン作成のコンサルティングから、沖縄から上京する学生や社会人の不動産仲介や運営を通じてサポートをしている同会社 東京都沖縄区 代表の平良英之さん。宮古島から沖縄本島、そして東京へと渡り活躍する平良さんの活動と2019年の抱負を聞いた。

◎沖縄から眞外に上京したきっかけは?
もともとは沖縄で高校の教員にならうと思つていたのですが、沖縄国際大学で教育課程を受講して教育審議にも行っていたので上京する気はありませんでした。そんな中、教育実習先の先生が教員を目指すなら一度は上京、もしくは一般企業で働いてみることを勧めてくれたんです。高校の地理歴史を担当していたので社会を知らない生徒たちに伝わらないぞという意味でアドバイスだったと思います。当時は県外へ就職後して三年後、沖縄に戻るつもりでしたが、気付いたら上京して13年が経りました(笑)。

◎上京後はどのように働いてきたのか?

上京後は小売業の野菜や果物の生果を取り扱う販売企業で働き始めました。小売業は沖縄でもアルバイト経験がありましたが、社員として県外の企業で働くことは社会人として学びが多かったです。また、当時はリーマンショック前だったので、外資系企業の勢いがある時代でした。外資系で働く友人たちと交流する中で、資産運用や証券会社の株式トレード、株式信託に興味を持ったのをきっかけに、その後、金融機関、保険会社とキャリアを重ねました。ある時、定年退職後やセカンドライフに沖縄移住を希望する方々のライフプランの相談

◎2018年を振り返ってどうだったか?
大きく二つあります。一つは「島旅立君たちへ」というインタビューサイトを立ち上げました。沖縄から東京に出てきて、益々業界で活躍しているウチナーンチュのインタビューを通じて、これから上京を考えている方々へのヒントになるメッセージを掲載しています。もう一つは弊社が介を通じて、実際に沖縄から上京する方々の「一歩」にお応えした家探しのお手伝いを行っています。この二つのサービスの立ち上げに注力した

◎県民の皆さんにメッセー
ジ
弊社のインタビューサイトに登場するゲストの話にもよくあるんですが、実際に沖縄から上京して感じることは、「沖縄出身」ということ 자체がすでに魅力もあるということです。島を出て県外で活躍されている諸先輩方のおかけでもあります。きっと上京後に何か挑戦する際に沖縄出身といふことが武器になるとだと思います。もちろん東京に限りますが、一度は沖縄を外から客観的に見て沖縄の新たな魅力を見つけることも大切だと思います。外から見た地元の良さを再発見する視覚を持つてほしいですね。島を出て挑戦する方々の力になれることが弊社にもあると思います。

◎2019年はどうなっ
年にしたいか?
インターネット同様、実際に沖縄を出て活躍しているウチナーンチュに一人でも多く会って、皆さんの実体験を通じたままアドバイスや情報などを多く届けていきたいと思っています。

実際に沖縄から上京して戸惑に立てると思いました。同時に、沖縄から上京する学生や社会人の受け入れ支援で力にならたいという思いもありました。私は教育実習の先生の言葉がなければ上京しないなかつたようになかなか上京するきっかけをつめない人がハードルを感じて迷っている若者は多いと思うんですね。そんな方々の新居や就職先、「ミユニティなど上京後の暮らしをサポートするための支援サービスをやりたい」と思いました。現在で5期目になります。

◎2019年はどうなっ
年にしたいか?
インターネット同様、実際に沖縄を出て活躍しているウチナーンチュに一人でも多く会って、皆さんの実体験を通じたままアドバイスや情報などを多く届けていきたいと思っています。

実際に沖縄から上京して戸惑に立てると思いました。同時に、沖縄から上京する学生や社会人の受け入れ支援で力にならたいという思いもありました。私は教育実習の先生の言葉がなければ上京しないなかつたようになかなか上京するきっかけをつめない人がハードルを感じて迷っている若者は多いと思うんですね。

東京都沖縄区 代表社員 平良 英之

